

# 「老朽原発動かすな」



行進する(最前列右から)佐藤、かねもと両氏ら。11日、福井市

## 福井 県連絡会が市民行進

原発ゼロをめざす市民行進が11日、福井市で取り組まれ、福井県内で緊迫化する老朽原発3基の再稼働に向けた地元同意判断の動きに対し、「老朽原発動かすな」と声を上げました。原発問題住民運動福井県連絡会の主催。

地元同意手続きが進むのは、関西電力の美浜原発3号機(美浜町)と高浜原発1、2号機(高浜町)。運転開始から40年を経過した老朽原発の再稼働は国内で例がありません。参加者らは「カネにまみれた原発なくそう」などと訴えながら

行進しました。日本共産党のかねもと幸枝衆院北陸信越比例候補(福井1区重複)、佐藤正雄県議が参加しました。

3基で講じられてきた安全対策の評価をめぐっては、県原子力安全専門委員会が9日開かれ、委員会としての報告書案を審議。「原子炉の工学的安全性を確保するために必要な対策が講じられている」と評価する結論部分の表現に異論が相次ぎました。鞍谷文保委員長も「すべてのことに対して安全性が担保されているような受け取り方をされると、本委員会でも議論されてきたことと、ずれる可能性がある」として「修正することになりました」。

県議会は14日に美浜原発、15日は高浜原発を現地視察し、16日は議会運営委員会を開いて審議の仕方を決める方向です。国と関電、杉本達治知事からも説明を受けます。